

2003年

京大 11 月祭 北部祭典企画上映会

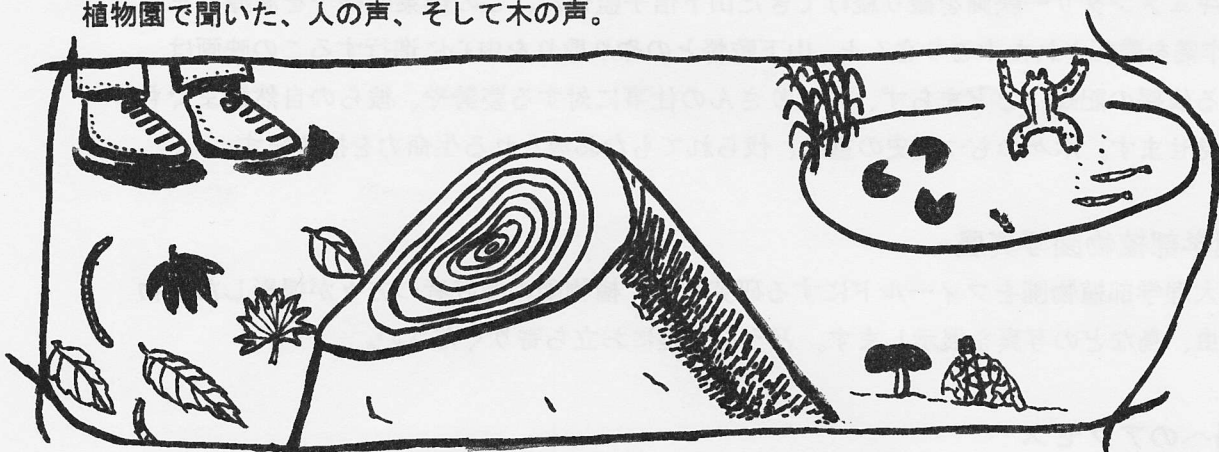
# BOTANICAL GARDEN にて

ほたにかる・がーでんにて

～大学に木こりさんがやってきた～

山下信子監督作品

植物園で聞いた、人の声、そして木の声。



とき 11月22日(土) 13時30分開場 14時開演

(13時より植物園の観察会を予定しています。希望される方はご連絡ください)

ところ 京都大学 北部構内  
(理学部2号館 第1講義室)

\* 入場無料 \*

16時より、山下監督のトークショーも行います。

◆ 同時開催 理学部植物園写真展

11月21日(金)～11月24日(月) <11月祭 北部祭典期間中>  
京大理学部2号館前にて

主催 “BOTANICAL GARDEN にて” 上映実行委員会

TEL: 090-6127-4084 (坂本)

E-mail: bg\_nite@hotmail.com

## ◇「BOTANICAL GARDEN にて」

監督：山下信子 2002年 95分

京都大学の北部キャンパスにある理学部附属植物園は、緑豊かで多くの生き物が生息しており、80年前の創立以来、多くの研究者のフィールドとして利用されてきました。また、都市の中の身近な自然として、大学関係者はもとより、近隣住民の憩いの場としても親しまれています。

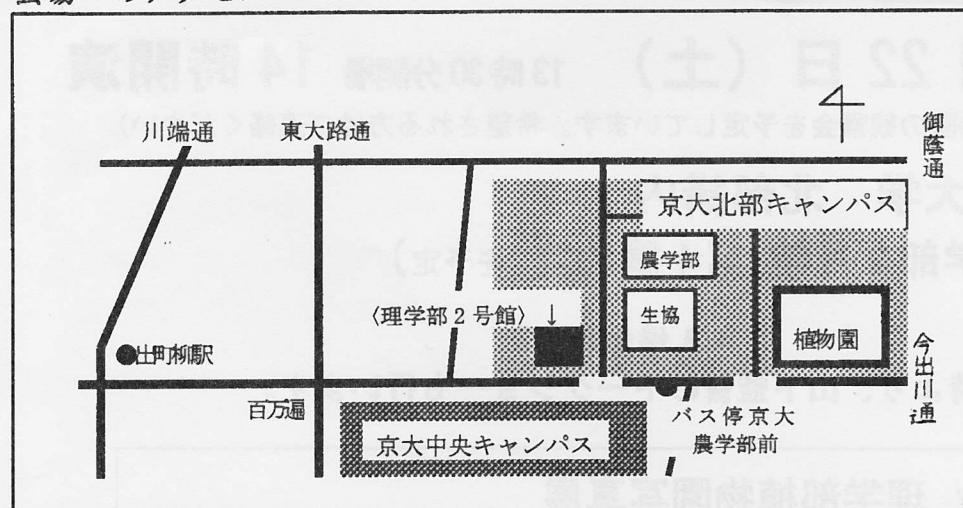
昨年の冬、理学部の指示により、この植物園で30本ほどの樹木の枝打ちや伐採が行われた。伐採された木の中には、20mを超える大木も含まれていました。植物園を利用する研究者や近隣住民への十分な説明なしに行われた伐採に、多くの人が疑問をもちました。

ドキュメンタリー映画を撮り続けてきた山下信子監督が、この作業の様子を記録しました。作業を委託された木こりさんと、山下監督とのやり取りを中心に進行するこの映画は、単なる伐採の記録にとどまらず、木こりさんの仕事に対する姿勢や、彼らの自然観までも垣間見せます。木々のもつ歴史の重み、伐られてもなお放たれる生命力を描きます。

## ◇理学部植物園写真展

京大理学部植物園をフィールドにする研究者や、植物園の愛好者の方々が撮影した植物や昆虫、鳥などの写真を展示します。どうぞ気軽にお立ち寄りください。

## 会場へのアクセス



○京阪電車でご来場の場合 京阪出町柳駅より東に徒歩約10分

○京都市バスでご来場の場合

京都駅、四条河原町、烏丸今出川、東山三条から

17, 203系統で「京大農学部前」下車すぐ

201, 206, 31, 3系統で「百万遍」下車、徒歩約3分